

商品名 パーキネス錠2 医薬品基本情報

薬効	1169 その他の抗パーキンソン剤	一般名	トリヘキシフェニジル塩酸塩錠
英名	Parkines	剤型	錠
薬価	9.00	規格	2mg 1錠
メーカー	東和薬品	毒劇区分	

パーキネス錠2の効能・効果

特発性パーキンソニズム、脳炎後パーキンソニズム、動脈硬化性パーキンソニズム、パーキンソニズム、向精神薬投与によるアカシジア、向精神薬投与によるパーキンソニズム、向精神薬投与によるジスキネジア＜遅発性を除く＞

パーキネス錠2の使用制限等

1. 閉塞隅角緑内障、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重症筋無力症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 開放隅角緑内障、前立腺肥大、尿路に閉塞性疾患、頻拍傾向、不整脈、高血圧、胃腸管に閉塞性疾患、栄養不良状態を伴う身体的疲弊、脱水を伴う身体的疲弊、腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

パーキネス錠2の副作用等

1. 悪性症候群、発熱、無動緘黙、強度筋強剛、嚥下困難、頻脈、血圧変動、発汗、白血球増加、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、精神錯乱、幻覚、せん妄、閉塞隅角緑内障	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 興奮、神経過敏、気分高揚、多幸症、見当識障害、眠気、運動失調、眩暈、頭痛、倦怠感、悪心、嘔吐、食欲不振、口渇、便秘、排尿困難、尿閉、過敏症、発疹、心悸亢進、眼調節障害、散瞳	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 発汗抑制、悪性症候群、せん妄、不安、精神症状、口渇、排尿困難、便秘、口内乾燥、呼吸抑制、顔面紅潮、悪心、嘔吐、意識混濁、精神錯乱、精神障害、残尿感、痙攣、筋不協調、急性器質性神経症、激高、見当識障害、記憶減退、幻覚	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

パーキネス錠2の相互作用

- 薬剤名等：抗精神病薬との併用

発現事象	発汗、頻脈、ミオグロビン尿、血圧変動、腎機能低下、白血球増加、発熱、無動緘黙、嚥下困難、悪性症候群、強度筋強剛、血清CK上昇	投与条件	本剤及び併用薬の減量又は中止
理由・原因	-	指示	注意

2. 薬剤名等：抗うつ薬との併用

発現事象	発汗、頻脈、ミオグロビン尿、血圧変動、腎機能低下、白血球増加、発熱、無動緘黙、嚥下困難、悪性症候群、強度筋強剛、血清CK上昇	投与条件	本剤及び併用薬の減量又は中止
理由・原因	-	指示	注意

3. 薬剤名等：ドパミン作動系抗パーキンソン病薬との併用

発現事象	発汗、頻脈、ミオグロビン尿、血圧変動、腎機能低下、白血球増加、発熱、無動緘黙、嚥下困難、悪性症候群、強度筋強剛、血清CK上昇	投与条件	本剤及び併用薬の減量又は中止
理由・原因	-	指示	注意

4. 薬剤名等：抗コリン作用を有する薬剤

発現事象	悪心、食欲不振、腸管麻痺、麻痺性イレウス、嘔吐、著しい便秘、腹部の弛緩、腹部の膨満、腸内容物のうっ滞	投与条件	-
理由・原因	相互に抗コリン作用が増強	指示	注意

5. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用が増強	指示	注意

6. 薬剤名等：抗パーキンソン病薬

発現事象	精神神経系の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』